

研究業績としての

社会貢献としての

# 書籍

---

京大新刊情報ポータルを通して見た人文・社会科学系研究の成果発信の特徴

京都大学学術研究支援室人文・社会科学系研究支援プログラム

(神谷、稲石、天野、佐々木、森下)

発表者：森下明子（京都大学学術研究支援室URA）

# 京大URAの人文・社会科学系研究支援

H23-24

H25

H26

H27

H28

H29

現在

学術研究支援室 (KURA)

6/8通知

本部構内 (文系) 地区URA室

文学研究科、経済学研究科、経営管理大学院、法学研究科、他

南西地区URA室 (地域研究・学際学域)

東南アジア研究所、アジア・アフリカ地域研究研究科、こころの未来研究センター、アフリカ地域研究資料センター

地区URA室を統合し学術研究支援室に

**人文・社会科学系グループ**設置

(5名の専任URAを配属)

**「人文・社会科学系研究支援プログラム」**スタート

## 人文・社会科学系研究支援プログラムの目的

京都大学の強みである人文・社会科学系の研究力強化に向けて、

**部局を超えて人文・社会科学系研究支援に必要な基盤整備**に取り組む

# 人文・社会科学研究支援プログラムの3つのプロジェクト

## #1. 外部資金獲得プロジェクト

人社系ニーズに沿った資金獲得支援

### 具体的活動：

- ・ プレ/ポストアワード支援の体系化
- ・ 人社系に特化したファンドの学内説明会開催
- ・ 大型・国際・学際・社会課題解決型のチーム形成支援 など

## #2. 資源整備・成果発信プロジェクト

多様な研究資源や成果出版物の情報発信

### 具体的活動：

- ・ 新たな成果発信方法に関する情報収集  
(出版、翻訳助成など)
- ・ **新刊書籍の情報発信「京大新刊情報ポータル」**
- ・ 学内連携プラットフォームの構築支援 など

## #3. 研究力可視化プロジェクト

「成果が見えにくい」研究を可視化するための調査・提案

### 具体的活動：

- ・ 定性評価フォーマットの検討
- ・ **分野別の特性に関するヒアリング・分析**  
(今年度末に発表予定)
- ・ 定量的指標に関する国内外の動向調査 など

# 京大新刊情報ポータル

http://pubs.research.kyoto-u.ac.jp/

平成29年4月 立ち上げ



本ポータルは、京都大学URAによる「人文社会科学的研究支援プログラム」の一環として、**京都大学研究者の論文以外の研究成果出版物（書籍）**の情報を発信し、その研究成果と研究の知見を京都大学内外に広く伝え、**社会と研究者をつなぐプラットフォーム**となることを目的としています

平成29年4月～8月25日までの

書籍掲載数	178 冊
ページビュー数	19,385
twitterインプレッション数	85,168

## データベースとしての機能【学内向け】

- 部局/分野/年度等によるソート機能
- CSVダウンロード機能

**実績とりまとめの作業や分析にも利用可能**

# 協力組織・出版社



全国の大学図書館の新着書籍の  
情報提供



構想時からのアドバイス

立ち上げ期に学術系出版社への声掛け

新刊情報だけでなく、新聞書評、イベント、  
受賞等の情報提供

京都大学生生活協同組合  
Kyoto University CO-OP

立ち上げ期に出版社への声掛け

京大生による書評の提供（『綴葉』）

## 京大新刊情報ポータル

Publications by Kyoto University Researchers

ホーム 図書一覧 ブックレビュー ニュース エッセイ このサイトについて

## 協力出版社

- ① 明石書店
- ① 大阪大学出版会
- ① 開拓社
- ① 化学同人
- ① かもがわ出版
- ① 京都大学学術出版会
- ① 九州大学出版会
- ① 極東書店
- ① 研文出版
- ① 弘文堂
- ① 晃洋書房
- ① シーエムシー出版
- ① 思文閣出版
- ① 商事法務
- ① 昭和堂
- ① ダイヤモンド・ビジネス企画
- ① 東海大学出版部
- ① 東京大学出版会
- ① 東京電機大学出版局
- ① 刀水書房
- ① 同成社
- ① 名古屋大学出版会
- ① 白桃書房
- ① 勉誠出版
- ① 法政大学出版局
- ① 北海道大学出版会
- ① みすず書房
- ① 有斐閣
- ① 臨川書店

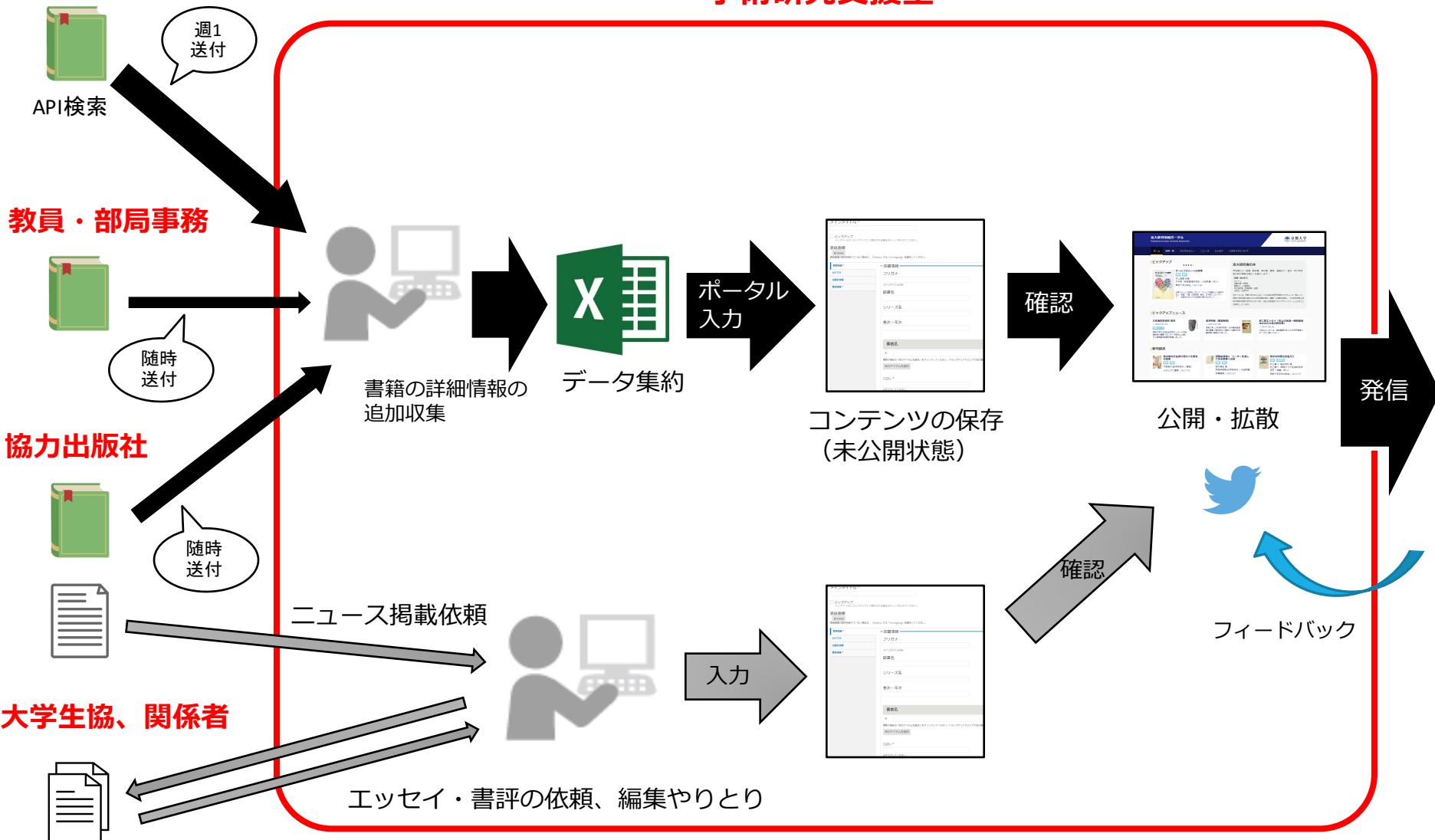
出版社（＝社会と各分野  
の研究(知)を媒介するメ  
ディア。≠書店）と直接  
つながる

新刊情報だけでなく、新聞書評、  
イベント、受賞等の情報のご提供

# 京大新刊情報ポータル<sup>o</sup>の運営体制

附属図書館

学術研究支援室



# 京大新刊情報ポータルの運営から見えてきたこと（1）

書籍を研究業績（学問的貢献）として捉えた場合、どのような人社系の研究力がみえてくるのか（私見）

- 単著 . . . . . 個人の研究業績、専門性
- 編著の編集 . . . . . 共同研究／シンポジウムのオーガナイザー、PM力
- 共著 . . . . . 共同研究／シンポジウム／共同企画への  
編著の分担執筆（章の担当） . . . . . 参画
- 翻刻、解釈 . . . . . 現世代・次世代のための研究資源（一次資料）の整備
- 翻訳 . . . . . 国内のグローバル化促進（海外の知見の紹介）
- 洋書 . . . . . 研究の海外発信、国際（共同）研究

# 京大新刊情報ポータルサイトの運営から見えてきたこと（2）

書籍を社会貢献として見た場合、どのような人社系研究の社会的意義が見えてくるのか（私見）

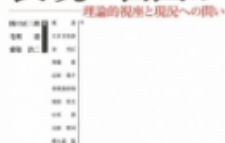
## 高度「知性\*」社会の構築

著者（研究者）は、研究で得た知識と論理を活用し、**より広く深い視点から**、様々な社会課題の捉え方（**世界観**）や**解決方策**を読者に示す



読者は、より視野が広がり、物事の**多面的・多角的理解**や**思考、発想力、論理的解決能力等**を向上させることができる

### なぜ表現の自由か



#### なぜ表現の自由か

編者 法律

阪口正二郎, 毛利透 他

毛利透(法学研究科 / 分担執筆), 曾我部真裕(法学研究科 / 分担執筆)

出版年月 2017.06

出版社 法律文化社

#### 内容紹介

「表現の自由」の保障の意義とあり方を、規制へのたゆまぬ警戒が必要との問題意識に基づき、憲法学の成果を踏まえて論究。

### 教育をよみとく

共著 教育

田中耕治 他

西岡加名恵(教育学研究科 / 共著者), 石井英真(教育学研究科 / 共著者)

出版年月 2017.04

図書体裁 四六判並製

出版社 有斐閣



#### 内容紹介

早期教育は必要か？ 格差は本人の努力の問題か？……自明性の迷路から読者を解き放つ、教育学の知を凝縮。教育の世界を考える上で不可欠な「探求」の手引き。「教育学部ガイドブック」として、「教育研究入門書」として、「教師入門書」としても必読の書。



### 秩序の砂塵化を超えて

編者 地域研究

村上真介, 帯谷知可 編

村上真介(東南アジア地域研究研究所 / 編集), 帯谷知可(東南アジア地域研究研究所 / 編集), 長岡慎介(アジア・アフリカ地域研究研究科 / 分担執筆), 岡本正明(東南アジア地域研究研究所 / 分担執筆)

出版年月 2017.07

図書体裁 A5

出版社 京都大学学術出版会

#### 内容紹介

格差拡大を背景にした民主主義の動揺が世界的に広がる一方、クリミア併合や「イスラム国」、南沙海問題など、第二次大戦以降世界が経験しなかった力による版図の変更さえもが進行している。平和と安定を再構築するための新しい途はどこにあるのか？ 旧体制や「伝統」を乗り越えようと格闘する、非欧米地域の社会の中に可能性を見る。

\* ビッグデータとAIの時代、これまで以上に人間に求められるのは、**知識や知能**だけでは解決できない課題（明快な回答がそもそもない課題等）への対応や、新たな創造を行うための**知性**（**思考力、発想力、論理力、判断力、表現力等**）である（e.g. 田子ほか: 2014 24）<sup>8</sup>



# 京大新刊情報ポータルの運営から見えてきたこと（3）

研究者の書籍の積極的読者層（学術書の読者層）はどのようなテーマに興味を持っているのか

- **新聞の書評**に取り上げられた書籍

（平成29年4月～7月の掲載ニュースおよびブックレビューから）

『ヒトiPS細胞研究と倫理』（京都新聞、朝日新聞、信濃毎日新聞、北海道新聞）

『環世界の人類学』（図書新聞）、『埋もれた都の防災学』（毎日新聞）

## 現代的社会課題と関連する書籍など

- 京大生の書評誌『**綴葉**』の**書評**に取り上げられた書籍

『平安京の地域形成』（綴葉）、『ベンヤミン「言語一般および人間の言語について」を読む』

（綴葉）、『学びのエクササイズ 認知言語学』（綴葉）、『ニーチェをドイツ語で読む』

（綴葉）、『怪異の政治社会学』（綴葉）

## 学生の専攻分野と関連する書籍など

# 京大新刊情報ポータルの運営から見えてきたこと（3）

研究者の書籍の積極的読者層（学術書の読者層）はどのようなテーマに興味を持っているのか

- 京大新刊情報ポータル**Twitter**のエンゲージメント（ユーザーがtweetに反応した合計回数）にみる  
トップ15書籍（平成29年4月～8月のtwitterアナリティクスから）

『書名』 関連する本学教員（所属部局 / 役割）	エンゲージメント
『なぜ表現の自由か』 毛利透(法学研究科 / 分担執筆), 曾我部真裕(法学研究科 / 分担執筆)	71
『中世の王朝物語』 金光桂子(文学研究科 / 著者)	30
『日本の火山』 井口正人(防災研究所 / 監修)	28
『反「大学改革」論』 宮野公樹(学際融合教育研究推進センター / 分担執筆)	21
『アプリで学ぶくずし字』 加納靖之(防災研究所 / 分担執筆)	16
『交錯と共生の人類学』 風間計博(人間・環境学研究科 / 編集)	15
『二次元物質の科学』 北川宏(理学研究科 / 分担執筆)他2人	14
『他者との邂逅は何をもたらすのか』 ジェニファー・コーツ（白眉センター / 分担執筆）他2人	13
『アクティブラーニング型授業としての反転授業〔実践編〕 溝上慎一(高等教育研究開発推進センター / 編集)	12
『マンガで学ぶ生命倫理』 児玉聡(文学研究科 / 著者)	12
『欧州各国に於ける国家革新運動』 佐藤卓己(教育学研究科 / 解説)	10
『どうして高校生が数学を学ばなければならないの?』 角大輝(人間・環境学研究科 / 分担執筆)	10
『京都大学蔵 頼原文庫選集』 長谷川千尋（人間・環境学研究科 / 分担執筆）	8
『モーデル-ファルティングスの定理』 森脇淳(理学研究科 / 共著者), 生駒英晃(理学研究科 / 共著者)	8
『雲岡石窟の考古学』 岡村秀典(人文科学研究所 / 著者)	7

人文学系書籍が多い傾向

# まとめ：京大新刊情報ポータルのプロデュースとは

## 「研究力としての書籍」の見せ方をプロデュース

人社系研究にとっての書籍とは、学問の推進に貢献する研究成果物・研究資源  
人社系研究にとっての書籍とは、人類・社会の課題解決に貢献するための活動

## 研究者と社会をつなぐ大学のハブ機能を強化する

京大新刊情報ポータルをハブとして、書籍を通じた知の伝達に関わる  
人々をWEB上でつなぐ（著者＝研究者、出版社、読者・書評者）

大学の研究力を示す研究成果物が論文以外にも多様にあることを示す

京都大学の充実した人文・社会科学系の研究実績を学内外に示す